

九州貿易振興協議会台湾への販路開拓事業業務委託企画提案における質問

	質問	回答
1	現地百貨店でのフェアの実施について 当フェアにおける出店ブースの規模（ブース コマ数）は、どの程度を想定しているか。	昨年度九州貿易振興協議会事業に参加した九州 及び山口各県事業者約40者程度を見込んだブー ス数を想定しています。ブース数等は採択後に 受託者が百貨店及び九州貿易振興協議会事務局 と協議し決定していきます。
2	現地百貨店でのフェアの実施について 現地バイヤーとの商談会を実施した上で、当 フェアで販売する商品の選定や仕入数量等に ついては、百貨店バイヤーと受託者間で、協議 の上、決定することによろしいか。 また、当フェアで販売する商品は、委託販売 方式ではなく、事業者から国内買い取り方式で の仕入れ・輸出でも構わないか。	御認識のとおりです。 フェアで販売する商品は、委託販売方式ではな く、事業者から国内買い取り方式でも構いませ ん。
3	一部業務の外注委託の可否について 本業務の円滑かつ効果的な遂行（国内商談会 の当日運営や、現地フェアにおける各種手配・ 運営等）にあたり、業務の一部を外部の専門業 者（イベント運営会社等）や台湾現地の協力法 人等へ再委託（外注）することは可能か。柔軟 かつ確実な事務局体制を構築するための可否 について教えてほしい。	本事業の目的を達成する取組であれば、業務の 一部を再委託することは可能です。
4	国内商談会のオンライン併用について 国内で開催する商談会（40社程度参加想定） について、現地バイヤーの来日が急遽困難にな った場合や、より効率的なマッチングを図るた め、一部オンライン商談（リモート通訳の活用 等）を組み合わせたハイブリッド形式での提案 は可能か。	対面での商談が基本となりますが、状況に応じ てオンライン商談を組み合わせたハイブリッド 形式での対応も可能です。開催方式は九州貿易 振興協議会事務局と協議の上、決定していきま す。
5	招聘バイヤーの範囲について 国内商談会に招へいする台湾バイヤーは、 「漢神百貨アリーナ店（高雄）」のバイヤーの みを想定しているか。あるいは、それ以外の百 貨店や小売店、商社等のバイヤーを追加で招へ いすることも提案可能か。	本事業の効果の向上に資する取組であり、委託 料の予算の範囲内であれば漢神百貨アリーナ店 （高雄）のバイヤー以外の招へいについて提案 可能です。

6	成果（目標）数値の集計期間について 本事業の成果目標（輸出額、取扱アイテム数、商談・契約数等）について、令和9年1月28日～2月11日の現地フェア終了から履行期限である令和9年3月5日までの期間が短いため、実際の輸出額や成約数の確定値を集計することが困難な場合が想定される。実績報告書に記載する数値は、フェア終了時点における見込み値（意向ベース）で差し支えないか。また、どの程度の確定度合いが求められるか。	実績報告書に記載する数値は、フェア終了時点における見込みで構いません。確定数値ができましたら報告をお願いします。
7	事業趣旨の最後2行の「九州の食」輸出促進プロジェクトと連携について この連携イメージはどんなことを想定されているか。漢神百貨との事前商談やフェアの出展者の調整等か。	「九州の食」輸出促進プロジェクトは「オール九州」でのプロモーション展開や、現地商社・バイヤーとの連携を通じて、海外市場での販路開拓と収益拡大を図ることを目的としたプロジェクトです。 プロジェクト概要等は以下HPを御確認ください。（事務局：福岡商工会議所様） https://www.fukunet.or.jp/businesschance/kyushu-food-project/ 「九州の食」輸出促進プロジェクトが実施する事業と連携し、九州及び山口各県の参加事業者の商談機会等の創出につながるような取組をイメージしています。 詳細については今後委託事業者決定後に確定していきます。
8	九州・山口フェアの運営について 出展者の販売商品や事後の経費精算業務は百貨店が行い、受託者は現地での販売促進支援に専念すると言う考えでよろしいか。	フェアの実施にあたり、経費精算業務等についても、受託者に対応頂きます。

~~※ 御質問1件について内容確認中です。判明次第回答いたします。~~

※ 内容確認中であった上記御質問については、御質問者様の意向により質問取り下げとなりました。（令和8年6月30日更新）